

目次

……………

【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 4 回「図書館の思い出」

創薬センター / 酒井 敏行

……………

【2】 --- 雑誌製本が終了し、利用できるようになりました

……………

【3】 --- Ebook Central の電子ブックが ProQuest で検索しやすくなりました

……………

【4】 --- 医 5 年、医 6 年生も図書館個人閲覧室を使えます

……………

【5】 --- Cochrane Library セミナー 9/30(月)開催

……………

[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- 教員コラム第 13 弾 第 4 回「図書館の思い出」

創薬センター / 酒井 敏行

……………

私が入学した当時は、古い建造物として、現在、学長室などが入っている昭和 4 年竣工の旧図書館だけでなく、大学門を入った中央には二階で教授会が行われていた建物があり、その隣には、入学式などが行われていたホールがあり、奥には鴨川に面した基礎医学の古い研究棟に、特別室の病室、さらには臨床講義棟もあった。その後、次々と解体され、最後に旧図書館だけが残った。この旧図書館も取り壊しの方向で話が進んでいたが、山岸元学長らのたいへんな努力で、何とか保存できるようになった。当時は、教授の中でも、こんな古い建造物は邪魔だという意見があったが、私個人としては、よく残してくれたものだと感謝している。なぜならば、京都府立医科大学は、その歴史を誇っているのだから、いくら敷地が狭いといっても、歴史的建造物が皆無になることは当然ながらよろしくない。

私が大学院生の頃は、この古い図書館にいつも通っていた。そこで、文献を見つけてはコピーして読むのが日課であり、それなくしてはまともな研究はできなかった。図書館の職員とも顔見知りになり、今と比較すれば格段に不便な時代ではあったが、今にして思えば全てが懐かしく思い出される。その後、現在の図書館が完成して引っ越したが、当時の図書館職員は、「豚小屋から御殿に移ったみたいだ！」と喜んでおられた。時代はさらに移り、今では、電子図書の時代になり、PubMed から必要な論文を簡単に検索できるようになり、その

御殿と言われた図書館に通う人も激減し、正直隔世の感を否めない。

このように便利になったことは歓迎すべきであるが、書籍として残す割合が激減するのも心配な気がしている。特に最近、電子ジャーナルの価格が高騰し、有名大学ですら十分な電子図書の確保が難しくなっている。電子図書を買えなくなれば、過去の紙ベースの書籍もないため、本当に何も残らないことになるのではなかろうか。経済的に厳しい大学は、十分な文献調査も困難になるという新たな問題が生じてきている。

私は本学のお陰で今日があると感謝しているので、本学の研究の衰退だけは避けなければならぬと思っている。そこで、皆で智恵を絞って、この新時代の難局を乗り越え、世界に誇りうる本学発の研究を、さらに推し進めていってほしいと切に願っている今日この頃である。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

---

## 【2】 ---雑誌製本が終了し、利用できるようになりました

.....

製本のためしばらく利用停止していた和雑誌・洋雑誌（主に 2017 年発行分）の作業が終了し、通常どおり利用できるようになりました。

2017 年以前に発行した雑誌は、

■洋雑誌⇒1 階書架

■和雑誌⇒地下書架

に配架し、ピカピカの表紙で皆様のご利用をお待ちしています。

※2018 年以降の[購読雑誌](#)は、1 階の新着和雑誌コーナーに並んでいます。

---

## 【3】 --- Ebook Central の電子ブックが ProQuest で検索しやすくなりました

.....

「Color Atlas of Fetal and Neonatal Histology」や「Oxford Handbook of Sport and Exercise Medicine」など、104 タイトルの電子ブックを提供している Ebook Central コンテンツが、[ProQuest プラットフォーム](#)から利用可能になりました。

ProQuest に収録されている雑誌論文とまとめて検索・閲覧できます。

※従来通り、[Ebook Central のプラットフォーム](#)でも利用できます。

---

#### 【4】 --- 医5年、医6年生も図書館個人閲覧室を使えます

---

館内に5室ある[個人閲覧室](#)は、原則として教職員と大学院生に提供していますが、国家試験の学習等に活用してもらおうべく、医学部5・6年生にも利用範囲を広げています。

<学部学生の利用条件>

■当日、空きがある場合（予約は不可）

※前日までの予約状況は [[空室情報](#)] で確認できます。

■先着2室まで

---

#### 【5】 ---Cochrane Library セミナー 9/30(月)開催

---

システマティックレビュー等を提供する Cochrane Library(コクランライブラリー)は、最近、いくつかのプラットフォームをアップグレードしました。初心者や新しい機能強化について学びたい方に、ウェビナー(英語)でのプレゼンテーションが実施されます。ライブの視聴が難しい方も、申込みを済ませておくと録画版が公開された際にメールで通知を受け取ることが可能とのことです。

日時：2019年9月30日(月)10:00-11:00

詳細：[Webiner](#)

---

#### [Book Review]

---

澤田瞳子著『京都はんなり暮し 京都人も知らない意外な話』徳間書店（2008年）

ここ数年留まる処を知らない京都人気。病院でさえ「京都〇〇病院」と改名する。この本は京都に生まれ育った者にとっても「へえー、知らなかった」という内容が気鋭の歴史作家らしからぬ京女の柔らかい語り口で書かれている。葵祭斎宮の悲劇から京都人気質、松原牛乳の成り立ちに至るまで（私は毎日松原牛乳を飲んでいた）「そうやそうや」と納得しながら読めて更に京都通になれる本。（K.M）

(京都府立図書館所蔵 K-Libnet で貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4198928002>

※「K-Libnet」は2018年4月から始まった京都府内公共図書館等との相互貸借サービスです。詳しくは[こちら](#)をどうぞ。

.....  
図書館メール News 第397号 2019.9.27 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....  
(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>